○**高専の志望動機と高専生活について**

　私は幼少期から機械・料理・裁縫など、モノを生み出す作業が好きでした。高校で普通科なんて私の人生が勿体ない、機械科や調理科志望を父に打ち明けたところ、「高専入れば？」と言われて入学したのが高専でした。

　高専生活は本当に楽しかったです。実験、レポート、レポート直しの繰り返し、その合間に課題やバイト…よく生きてたな、と思います。楽しかったのは本当で、放課後に残ってクラスメイトとレポートや課題を教えあったり、ご飯を食べに行ったり。学園祭準備は、公開ゲーム発案者の級長と喧嘩しながらストーリーや小物、動画作成をしつつ手伝ってくれる仲間に指示を飛ばし…。と忙しない日々でしたが今でも遊ぶような仲間がたくさんできました。

○**現在の仕事や普段の生活について**

　JAL エンジニアリングという会社で飛行機のエンジンの分解・組立をしています。エンジンという飛行機の要となる部品なので、お客さまの安全のため、日々 100%より 120%の整備を心がけています。

　普段は時間を趣味に割きつつ、家事をしていることが多いです。何せ潔癖症なもので。掃除、趣味、料理、趣味、買い物、趣味…と元高専生の夫(実は 5 年間同じクラスでした)と家事を分担したり、趣味に興じたりと共に有意義な日々を過ごしています。因みに趣味は高専生らしく小説、漫画、ゲーム、アニメ、声優、カラオケ…と時間がいくらあっても足りません。

○**女子中学生に向けてのメッセージ**

　高専は男性が多いですが、5 年間の過程で協力し、笑い合う仲間を男女関係なく築くことのできる環境です。先生方も親切で、卒業後でも学園祭に足を運んだ際などは気さくにお話しして下さいます。

　未だ男性が多いこの業界、正直女性は少ないです。だからこそ「工業女子」、カッコよくないですか？少しでも工業系に興味がある方は、是非オープンキャンパスなど参加して頂き、高専の魅力を余すことなく感じていただきたいです。

下記 URL から動画（主に学校行事について）が視聴可能です。是非ご覧ください！

https://youtu.be/ZLM7pPN_3WQ